

ブルガリア科学アカデミー電子工学研究センター

センター長 工学部 電子情報工学科 准教授 田中 武 (たなか たけし)

センターの概要

(1) 主たる研究分野

電子およびイオンを用いた材料の表面
改質

(2) 研究概要

本学電子情報工学科は、1994年より、ブルガリア科学アカデミー電子工学研究所と共同研究を実施してきました。この共同研究を実施することにより、18の共同研究論文(予定を含む)を発表し、ブルガリアと日本の共同研究において、重要な位置を占めてきました。

(今回の協定は、広島工大は、2009年5月26日サイン、ブルガリアアカデミーは2009年5月28日サイン、その後、3年間有効である。)

研究概要としては、薄膜堆積、電子およびイオンリソグラフィ、エッチング、イオン注入、減速などのプロセス、X線光電子分光法、分光、X線回折等の評価、およびシミュレーション、それらの技術の工業、医療、製薬、バイオ、歯学への応用をおこなってきました。

今後は、この2国間の研究協力をベースに、多国間での共同研究に発展させるとともに、集積回路を例にあげると、電子機器設計、システム設計、電子回路設計、レイアウト設計、集積回路試作、評価、電子デバイス応用、システム応用、電子機器応用と、設計から試作、応用までの一貫教育の基本的な教育研究を付加し、学際的で、幅広く、そして、持数のある研究を実施していきたいと思っております。



サボティノフ議長(中央)と固い握手を交わす、田中(左)とドヴァ教授(右端)(後ろ左から)ひろしまブルガリア協会今村会長、山本理事



ブルガリアアカデミー電子工学研究所内に共同研究室設置